

平成 19 年度用高等学校理科 生物 I (生 I 019)

平成 20 年度用教科書では以下について訂正致します。ご迷惑をお掛け致しますこと、謹んでお詫び申し上げますと共に、ご指導に際しまして、ご配慮戴きますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
199	右下図の タイトル	<b>輸尿管</b>	<b>輸尿管</b>
238	図 17 の タイトル	<b>極性移動</b>	<b>極性移動</b>
240	L9	I A A 酢酸水溶液	I A A 水溶液
248	L5	細胞に動きかけ	細胞に働かけ
260	右下図の タイトル	<b>シベレリン</b>	<b>ジベレリン</b>

改善のための訂正

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
20	L13	に <u>関</u> わる	に <u>か</u> めわる
21	L24	間を <u>う</u> め	間を <u>埋</u> め
34	L10	<u>み</u> えた。	<u>見</u> えた。
47	右下の表	$\frac{\text{各期の細胞数}}{\text{全細胞数}} \times 100$	$\frac{\text{各期の細胞数}}{\text{全細胞数}} \times 100$
57	L9	に <u>較</u> べる	に <u>比</u> べる
59	L2	<u>すみ</u> やかな	<u>速</u> やかな
75	図 3 の第 一分裂終 期		
84	図 8	<b>植物極</b>	<b>植物極</b> (細い書体にする)
121	図 39 タイトル	<b>の性染色体</b>	<b>の染色体</b>
138	L5	<u>ひ</u> じょうに	<u>非</u> 常に
138	L7	なる。 <u>(⇒p. 44 図 21)</u>	なる (⇒p. 44 図 21) <u>。</u>
149	L3-4	<u>すみ</u> やかな	<u>速</u> やかな
152	L3	<b>伝導</b> する	<b>伝導</b> する
160	図 15 の右下	<b>音波</b>	<b>音波</b> (細い書体にする)
175	L4	20 <u>頭</u>	20 <u>匹</u>
185	L16	<u>細胞</u> 成分	<u>有</u> 形成分
190	L11	<u>すみ</u> やかに	<u>速</u> やかに
194	L5	<u>から</u> とりの <u>ぞく</u>	<u>から</u> <u>取</u> り <u>除</u> く
194	L6	活発に <u>おこ</u> なう。	活発に <u>行</u> う。
197	L7	<b>ポー</b> マン <u>囊</u>	<b>ポー</b> マン <u>囊</u>

198	図 49		
198	L4	に再吸収される。	に再吸収される。
	L5	される。再吸収さ	される。再吸収さ
213	L2	も関わって	もかかわって
230	図 7 の右図	光の強さがBのとき 光の強さがAのとき	光の強さがBのとき 光の強さがAのとき
233	表 1 の右上	例の欄における下線の欠けを正します。	
236	図 14 の グラフ横軸	<u>オーキシ</u> ン ( I A A ) 濃度	<u>インドール酢酸</u> ( I A A ) 濃度
238	L13	切り <u>取</u> った	切り <u>と</u> った
239	L5	<u>オーキシ</u> ン ( I A A ) 濃度	<u>オーキシ</u> ン濃度
240	L4	オーキシ <u>ン</u> ( I A A ) の濃度	オーキシ <u>ン</u> の濃度
262	L5		
241	L13	張り <u>め</u> ぐらされ	張り <u>巡</u> らされ
241	L16	<u>隙間</u> が	<u>すきま</u> が
242	L8	<u>抽臺</u>	<u>抽臺</u>
243	L12	<u>へん平</u> に	<u>扁平</u> に
245	L13	酵素の <u>はたら</u> きで	酵素の <u>働</u> きで
245	図 25 の タイトル	<u>離層の形成とエチレン</u>	<u>離層の形成</u>
261	L16	光を <u>あ</u> てた	光を <u>当</u> てた
262	L8, L12, 図 2 (3箇所)	<u>I A A</u> の	<u>オーキシ</u> ンの
247	L3, L4, L7, L8, L10, 下段の左 図中と右図タ イトル(8箇所)	フィトクロ <u>ム</u>	フィトクロ <u>ム</u>